

北山だより

北山湿地(池金町)は、岡崎市自然環境保全条例に基づく自然環境保護区に指定されています。湿地およびその周辺でのすべての動植物の採取等の行為は禁止されています。これに違反した場合は、30万円以下の罰金が科せられる場合があります。貴重な自然環境の保護にご協力ください。

北山湿地を守る活動

【4月の作業内容(17日(土)9時~12時 参加20人)】①A湿地新見晴台に接続する木道付け替え準備②付け替えに伴い旧木道撤去。B湿地沿い散策道に敷設し再利用(雨水対策)③A湿地東の手つかずだった湿地帯の倒木処理、除伐④A湿地木道沿いのコシダ刈り取り⑤道板・杭・踏み板など散在する資材を整理



旧木道を散策道に敷設

北山湿地を学ぶ活動

4月25日(日)、おかざき湿地保護の会は初めての勉強会を北山湿地で実施しました。当日は24人の会員が参加し、同会

《初夏の観察会》岡崎市自然共生課は6月12日(土)、北山湿地観察会を開催します(参加無料)。今回は植物や昆虫など専門の先生方が講師を務められます。日本最小のトンボハッチョウトンボやトウカイコモウセンゴケなど湿地特有の動植物、ササユリなど里山の花々が観察できるでしょう。【時間】9時~正午(雨天時は20日(日))【持ち物など】筆記用具、飲み物、ハイキングのできる服装(長袖・長靴)【定員】30人(超過の場合抽選)【申し込み】はがき・FAX・Eメールで、「北山湿地観察会」と明記の上、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入。岡崎市自然共生課まで。6月4日必着【問い合わせ】同課自然保護班まで(連絡先は本紙欄外に記載)



の特別会員であり植物が専門の千賀敏之先生(元新編岡崎市史調査委員)より講義を受けました。

会員からは、日頃目にしながら名前がわからない植物への質問が多く、また普段気づかなかつたり意識しなかった植物について先生から解説を受け、改めて多くの種が存在することを確認しました。一方先生からは保全活動に向けての心がけなどのお話がありました。湿地内については、①確立された保全方法などない②成果を焦らない③はびこるものは様子を見ながら少しずつ抜き取る④単なる育生場所にしないなどご指摘いただき、周囲の森林については、陽の当たり具合や樹木の密度、老木と若木の割合など、あらゆる要素がまんべんなく

パズルのように存在する「森林の多様性」が重要であるとのことでした。

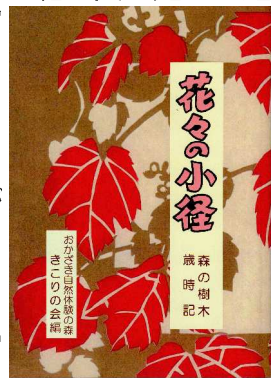


散策道端に芽を出した植物は踏まれないよう注意をうながす工夫を。

こうして自然の仕組みが少しずつわかってきて、これからの作業に向けて大いに参考になりました。今後定期的に勉強会を開催することが望まれます。



『花々の小径 森の樹木歳時記』(平成22年3月 きこりの会編集・発行 500円)おかざき自然体験の森(八ツ木町)で里山整備を続けている市民団体「きこりの会」の会報「きこり小屋」の長年の連載が1冊の本にまとまりました。同会会員であり、ホテルの生態に詳しく、体験の森でゲンジボタルの飼育を続けておられる竹内昭次先生によるエッセイで、体験の森に生育する樹木をやさしくわかりやすい文章で紹介しています。添えられた花や実は先生の趣味である切り絵で表され、写真とは違った、ほっとするような暖かみがあります。体験の森に生育する樹木は150種以上ありますが、そのうち86種が掲載されています。問い合わせは同会事務局(おかざき自然体験の森管理棟内 Tel 45-5544)まで。



【バードウォッチング】 5月22日(土)、中央総合公園(高隆寺町)で開催。国連が定めた「生物多様性の日」に野鳥を観察しよう!▼9時~正午(雨天時は翌23日)▼同公園内美博第2駐車場集合▼筆記用具、飲み物、あれば双眼鏡、軽装で▼申し込み不要、直接会場へ。記念品あり。*水とみどりの森の駅6月のプログラムは同ホームページまたは市政だより5月15日号をチェック。

観察会に参加して

4月10日に開催された北山湿地観察会参加者に対しアンケートを実施。さまざまなご意見やご感想をいただきました。

季節によって状況が変わりすばらしい場所である。希少種も多い場所だと思うのでぜひとも大事にし、後世の人にも見てもらえるように残してほしい。またよく知っている保存会の人に同行していただき感謝している。参加できて大変良かった▼ぜひ会に入りたい。保護のやり方を教えてもらい感銘した▼いろいろな詳しい話が聞けた有意義な

観察会だった▼写真撮影に気をとられて一步木道から踏み込んでしまい、自然の大切さは表面的にしか理解しておらず、この一步が良い意味で自分にとって自然への第一歩を踏み出せたかと思う。自然保護の真の姿は何か。ミツバツツジは日が当たらないと枯れてしまうため周辺を伐木しているとのことだが、これはある意味人間のエゴが入っているのではないかと思った。丁寧な説明をいただきありがたかった▼何回も来ているが自然の観察が少なかった。今回の説明で生き物の生態の多様性に興

味を持った。次回も参加したい。自然の大切さが実感できた▼樹木名の看板がもう少しついていたほうが良い。ただ歩いているだけではわからない。説明を受けたことによりいろいろな生き物があることがわかった。ギフチョウの卵を見つけることができ感動した▼多くの樹木や生物があり、よく整備されていると感じた▼初めて参加したが大変楽しかった。少し息切れがした▼案内してくださる方の穏やかな人柄や丁寧な説明に感動した。今後また季節が変われば来てみたいと思った▼何回来ても季節ごとに変化があり楽しい。監視員の皆さんの熱心さに脱帽する▼とても良い所だった。友達と来たいと思う▼初めての参加だったが市内にこんなにすばらしいところがあるとは感激。これからは大切にしていきたいと思う。

《おかげぎ自然体験の森ホテル観賞会》ホテルに関するお話しと観察指導【日時】6月11日(金)・12日18時30分~20時【場所】管理棟およびピオトップ(雨天時は管理棟)【講師】竹内昭次先生(元秦梨小学校校長)【定員】20人【持ち物など】懐中電灯、長靴【申し込み】同所まで電話で(Tel 45-5544)。
《鳥川ホテルまつり(鳥川町)》天然のホテルが棲む貴重な流域で観賞。ハーブのコンサートもあり。【日時】6月12日(土)17時30分より(雨天決行)【場所】旧鳥川小学校【駐車場】80台分あり【主催】鳥川ホテル保存会【問い合わせ】岡崎市自然共生課森の駅推進班まで(Tel 23-6921)。

岡崎のトンボたち⑫

ムカシトンボ【大きさ46~53mm、成虫出現期5月~6月】世界的に有名な原始的形態を持つトンボで、「生きた化石」といわれ、日本特産種です。頭・胸・腹部はサナエトンボに似ていますが、翅はイトトンボのように前後同じ形をしています。山間部の水のきれいな細い溪流に生息します。幼虫期間はトンボの中でも特に長く5年~7年とされています。溪流上や周囲の林辺また尾根筋を速く飛ぶので、よく見ていないと目の前を横切っても判りません。

タカネトンボ【大きさ54~64mm、成虫出現期6月~10月】胸・腹部がメタリックグリーンで、成熟すると複眼が金緑色に輝く、きれいな中型のトンボです。平地から山地にかけて、周囲が樹林で覆われた閉鎖的な池沼や水たまりに生息しています。薄暗い環境を好み、池の周囲を木陰を縫うようにホバリングしながら飛翔したり、時には縁側等から室内に入り込むこともあります。

(文と写真/おかげぎ湿地保護の会 山本英治)



ムカシトンボ♀



タカネトンボ♂

《アンケート結果(回答者13人)》性別 男性6人 女性7人【年齢】20代未満1人 40代2人 50代4人 60代3人 70代以上3人【北山湿地来訪】初めて7人 3回以上6人【北山湿地を何で知ったか】ホームページ1人 新聞・雑誌1人 知人から5人 その他6人(おかげぎラウンドテーブル、市政だより、監視員をしている方から)【観察会の内容】満足12人 その他1人(無回答)【観察会の時間(3時間)】ちょうどいい12人 その他1人(無回答)【北山湿地の良いところ(複数回答)】ミズゴケ3人 花8人(ナンカイイワカガミ、ショウジョウバカマ、ハルリンドウ、ヒメカンアオイ、スマレ類) 樹木3人(コシアブラ) 生き物8人(ギフチョウ、タバサナエ、ヤゴ、アズマヒキガエルのオタマジャクシ) 整備状況4人【北山湿地の悪い・改善すべきところ(複数回答)】駐車場1人 トイレ3人 看板1人 木道1人 その他2人